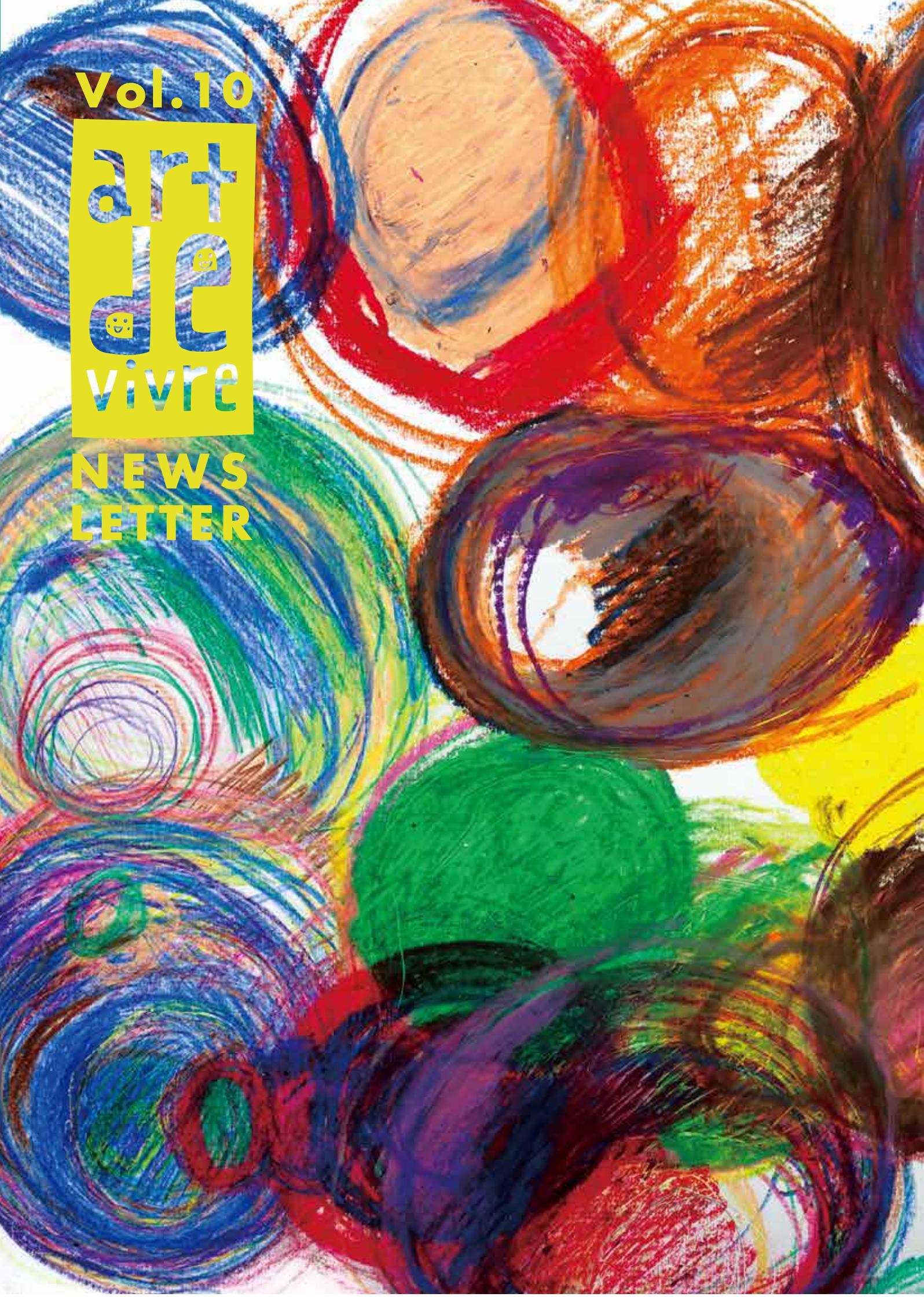
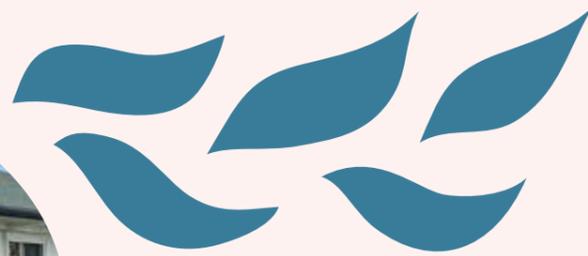


Vol. 10

art
de
vivre

NEWS
LETTER





2022年12月22日

アール・ド・ヴィーヴルは社会福祉法人となりました

障がいのある人達がアートで社会とつながる活動を始めて10年が経ちました。

マンションの小さな一室から始まった活動は、障がいのある人の自己実現をともに考え実践してきました。

2021年に多機能型福祉施設をオープン、2022年には法人格をNPO法人から社会福祉法人へと移行することができました。これも、今まで活動を支えて下さった当事者家族、賛助会員、寄付者、ボランティアの皆様のおかげと、心より感謝しております。

設立以来、障がいのある人が、自分らしく生きることを追求できる働き方を模索し、他業種の方々と連携し、社会との繋がりを大切に参りました。現在、アールには50人が所属され、障害は多様化しています。

知的、精神、肢体不自由、それぞれがご自身の願いを持って通所されています。

衣食住+αを目指して、これからもチャレンジして参りますので、アールの活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル理事長 萩原美由紀

役員からのメッセージ

NPO アール・ド・ヴィーヴルが社会福祉法人となって半年が過ぎました。アートを中心に創作活動が続けられていて、活動の場はますます広がっています。障害があっても自分らしく生きられるということは、地域の人たち全員が自分らしく生きることにつながっていきます。社会福祉法人となって、社会的な責任はより大きくなりました。地域の方々との連携をさらに進めながら、障害をもった人たちがよりいきいきと暮らせる社会の実現を目指したいと願っています。

理事 横田俊一郎

障害や健常といった見方を越え、誰もが持つ「個性」が伸び伸びと発揮され、そして皆が支え合い、活かしあっていく…。そんな未来の社会に向け、一歩ずつ道を拓いてきたアール・ド・ヴィーヴル。

これからの進化・深化を心より応援しています。

評議員 加藤憲一

昨今、人々がともに生きにくい世の中にあって、社会と繋がるアールの活動は、障がいのあるなしに関わらず、全ての人々が自分らしく生きる一筋の光と希望と誇りと勇気をもたらすものであると確信しております。誰もが「その人らしく生きる」ことができる。まさに「個性に優劣なし」の社会の実現そのものです。

評議員 栢沼行雄



“アート活動をする福祉施設をここ小田原の地につくる”
夢を語り合ってきた11年。ついにアール・ド・ヴィーヴルは2022年12月、NPO法人から社会福祉法人となりました。
これからは社会福祉法人としてより地域密着の活動がミッション。福祉事業所に通う人たちだけでなく、地域で生きる障害がある人、生きづらさを抱えた人たちと関わっていくことで、“障害”とはなにか、またインクルーシブな社会の在り方について問いかけ、イメージを投げかけ、広く知ってもらおう広報的役割も担っていくでしょう。

障害者の福祉施設という場所は、現代社会が抱える課題が集積している場でもあります。単純な意味に回収されない一人ひとりが抱えている（一見わかりづらい）困難さに向き合っていくこと。福祉の現場としてのアール・ド・ヴィーヴルには、メンバーたちの「生きる」リアルが詰まっています。

「表現」には強い力があります。本人にとってそれは仕事でありながら同時にセラピーだったり、観る側にとっては「表現」によってパーソナルな感覚を強く揺り動かされ、呼び覚まされた内的体験がその人の社会的視野を一気に拡張させることもあります。アール・ド・ヴィーヴルのアート活動は、既成の狭い定義としての「芸術」活動ではなく、福祉や医療や地域を巻き込んでいく、現在進行形の、未来をつくる社会彫刻としての芸術活動なのです。

理事・美術家・アートディレクター 中津川浩章



社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル役員等

理事 萩原 美由紀・横田俊一郎・杉崎茂・中津川浩章・牛山恵子・ケリー佳枝

監事 柴田 和生・小室 全由

評議員 菱宮 武夫・鈴木 博品・高橋 剛司・市川 聡・武市 早苗・加藤 憲一・栢沼 行雄・小倉 直子



社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル設立記念イベント

社会福祉法人化を記念して、アール・ド・ヴィーヴルでは2つのトークイベントと2つの展覧会を開催いたしました。どの企画にも、遠方からもたくさんの方にお運びいただきましたこと、心から感謝いたします。

中野裕弓さんトークイベント「Feel Goodで生きる」2023年4月9日（日）



19歳でロンドンに渡り、その後9年に及ぶ英国生活を経て、東京の外資系銀行、金融機関等に勤務。世界銀行本部日本人初の人事マネージャーとして世界中から集まったスタッフにキャリアや対人関係のアドバイスにあたっていた中野裕弓さん。病に倒れ、車椅子の生活になったからこそ「Feel Good」な、喜びにあふれた人生を切り開く活動ができていると語り出され、心がつながるコミュニティで「楽しく」分かち合う「ソーシャルリス」でつながる幸せな社会について、さまざまなお話を聞かせてくださいました。後半は「ケーススタディ」。参加した皆さんからの質問全てにその場で答えてくださる中野さんのお話、うなずいたり、メモをとったり、涙したり…。気づけばあっという間の2時間半でした。遠くは大阪から足を運んでくださった方もいらっしゃり、ギャラリーカフェは30名近いお客様の熱気に満たされました。

講演会

「障がい者アートとインクルーシブ社会」



2023年5月6日（土）14:00～
小田原三の丸ホール（小ホール）
基調講演：播磨靖夫
（「たんぼの家」理事長・2009年芸術選奨受賞・2022年文化功労者受章）
モデレーター 中津川浩章
クロストーク：
やまなみ工房施設長：山下完和
工房まる代表理事：樋口龍二
アール・ド・ヴィーヴル：萩原美由紀 中津川浩章

記念講演会の登壇者として、エイブルアートムーブメントを作り出し、日本の障がい者アートを牽引した「一般社団法人たんぼの家」理事長の播磨靖夫さん（2009年芸術選奨受賞・2022年文化功労者受章）をお招きいたしました。クロストークには、その活動と作品がともに世界的に注目されているやまなみ工房施設長の山下完和さん、企業×行政×福祉×アートのスキームをつくり出した第一人者・工房まる代表理事の樋口龍二さん、をお迎えしての豪華な企画が実現しました。

第一部

令和4年度文化功労者播磨靖夫氏（たんぼの家理事長）の基調講演（モデレーター：中津川浩章アートディレクター）を行いました。

ジャーナリストから福祉の道へと進み、障がいがある人たちの日々の営みとしてアート、パフォーマンスの可能性を見出し、活動し続けてこられた播磨氏からは、活動における利他の志、創作を社会に発表していく事の意義、表現を通して生きる意味を考えることの大切さが語られ、メモをとる聴衆の姿も多く見られました。



第二部

第二部は、滋賀県からやまなみ工房・施設長山下完和氏、福岡県から工房まる・センター長の樋口龍二氏に登壇いただき、中津川浩章アートディレクター、理事長萩原美由紀を交えたクロストークを実施しました。

全国に先駆けて、障がい者の芸術文化活動を牽引し続けるお二人、それぞれの拠点で積み重ねて来られた営みからの「生の声」を通して、障がいがある利用者も、支援者も、だれもが「幸せ」な社会を目指す営みと志について、対話の時をもちました。



ご参加いただいたみなさまからのご感想（アンケート自由記入欄より）



講演会

■生み出したものに心揺れ、そばに寄って想像してみても生身になっていくという播磨さんのお話。私も施設で働いていますが、それだな！と思いました。アートであってもなくても息づかいや小さなまばたきや愉快なこと、ことば、うごきにいつも生身にされています。ああそれが魅力だと改めて思いました。そこに意図せず祈りがある、という中津川さんのことばに深くなびました。私も利用者のみなさんの許容力にいつも救われ、自分の存在を確かめています。すばらしいお話でした!!（40代・福祉関係者）

■幸せとは何だろうということを改めて考えさせられました。（50代・一般企業）

■観察力、洞察力、想像力、そして生き物は内発的で他者との関係性の中で自律的なものだということ。今の日本社会に大変求められていることだと思いました。（70代以上・その他）

■中津川さんとの対談で、見た人の感動が化学反応を起こし社会が動く。わからないから想像力が育まれる。利他の心が繋がって愛と祈りの継承。異なる日常の美を見出していく大切さ。大切な事を沢山教えて頂きました。（50代・福祉関係者）

クロストーク

■4人の対談。とても楽しくリラックスして聞けました。福祉と行政の関係、経済と幸せの関係、障がいのある方のアートと企業、福祉施設を無くしてごちゃ混ぜがいい。障がいのある方と支援者のハッピーな関係。アートが間に入る事で広がる世界。アート活動で人が変わる、地域が変わる、本人が変わる。書ききれないほど学ばせて頂きました。本当にありがとうございました。（50代・福祉関係者）

■皆さまが同じようにおっしゃっていた「許容力のある居場所」が印象に残りました。（50代・その他）

■どういう関係性をつくっていくか、という問いを様々な角度で語られていたところ。私も福祉施設がなくなって公共施設になったらいい、という部分にとっても共感していますが、道のりはまだ険しそうです！考え続けていきたいです。（30代・文化芸術関係者）



展覧会

対話するアート —障がいがある人たちの表現

vol.1 たんぽぽの家アートセンター HANA (奈良) / やまなみ工房 (滋賀) / 工房まる (福岡) / 工房集 (埼玉)

2023年5月1日(月)~26(金)の平日 10:30~16:00

会場: アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーカフェ (神奈川県小田原市久野 403-17)

障がい者による表現活動(障がい者アート)を牽引してこられ、国内はもちろん海外でも高い評価を受けている障がい者福祉施設4ヵ所の作品を紹介する展覧会を行いました。神奈川県西部で高いクオリティの障がい者の作品が展示される機会が極めて少ない状況の中、来場者からは感嘆の声があがり、アールスタッフも刺激を受け、手応えを感じる経験になったと実感しています。ご協力くださった施設のみなさま、ありがとうございました。



関連書籍の販売も実施しました。

観覧くださった皆様からのご感想 (アンケート自由記入欄より)

- 一枚一枚が語りかけてくるような力強さを感じ、圧倒された。ずっと見ていたくなった。興味が増大し、大規模な会場でもっとたくさん見たいと思った。またやって欲しい。(50代・デザイナー)
- 描いた人に思いを馳せながら鑑賞した。また企画して欲しい。(50代・福祉関係者)
- 見たことのない作風を見られて刺激を受けた。(30代・福祉関係者)
- これからも他の施設の展覧会等を積極的にやって欲しい。(50代・福祉関係者)

vol.2 アール・ド・ヴィーヴル展

2023年5月3日(水)~14(日) 9:00~21:00

会場: 小田原三の丸ホール ギャラリー回廊 1.2階 (神奈川県小田原市本町1-7-50) 9:00~21:00

小田原三の丸ホールギャラリー回廊(1F/2F)をフルに使い、アール・ド・ヴィーヴル在籍全メンバーの作品を展示しました。作品だけでなく、作者を紹介するキャプションパネルや、コンセプトブックのテキストも合わせて展示し、作品の魅力とともに一人一人の特性について、アールの活動指針や思いなども知っていただくことを目指しました。アクセスの良い会場での、朝から夜までの開館という環境が幸いし、今まで出会うことのなかった多くの方に観覧いただくことができました。



観覧くださった皆様からのご感想 (アンケート自由記入欄より)

- 私は今日、バイト終わりにこの展覧会へ来ました。とてもつかれていましたが、みなさんの絵をみていると夢中になってしまい、つかれていたことを忘れてしまいました! すてきな絵をありがとうございました。みなさんの個性が輝いていました!! (20代・開催チラシを見て)
- 仕事の中で障がい者の方と多く関わります。3年ほどたちますが、皆さん個性豊かで毎日新鮮な気持ちです。自分の仕事が皆さんの笑顔につながればいいなと願いを込めて、明日からもがんばろうと思います。作品の横に作者さんの笑顔と思いが書いてあるのがとてもよかったです! これからも継続して取り組みができるように、私も力になれたらと思いました。(20代・行政関係者)
- 感情のほとばしりが素晴らしい。構えずに素直に絵と向き合っておられる。真に絵を描いていらっしゃる。人間の素直さが素晴らしい。(70代以上・文化芸術関係者)
- 力づよさに感激。市内小中学生の教材としてほしい。多様性と社会が謳うのであれば、身近な存在からまず感じ学んでほしい。(40代・その他)
- 小田原市にこのような場があることを嬉しく思います。(50代・その他)
- 全ての作品が個性的で楽しい作品たちでした(30代・農家)
- (パネル展示から) 制作者の姿がみえてよかった。良い気持ちになりました。(50代・静岡県より)



- 作者の中に秘められた様々な世界観をうかがうことができました。描き込みの細かさや、色彩の豊かさに惹きつけられました(20代・来館者)
- どの作品も生き生きとして、「自分らしく生きればいじゃん!! 楽しいこと沢山あるよ」と思わせてくれる展覧会だったと思います。(70代以上・その他)

10代以下のお客様より

- 毎日みていたい。
- きれいでした。わたしもピンク色やハートが好きなのでかわいかったです。
- とりさんの絵がやさしかったです。だいすきです。すてきな絵をたくさんみせてくれてありがとうございます。

スクランブル・ダンスプロジェクト

海を越える!

2023年5月14(日) 16:00 開演 会場: 小田原三の丸小ホール

社会福祉法人設立記念関連イベントとして、2023年5月14日(日)障がいのある人もない人も一緒に踊る「スクランブル・ダンスプロジェクト」の公演が行われました。

第一部は、スクランブル・ダンスプロジェクト主催で舞踏家の松岡大さん、中津川浩章アートディレクター、Light Sound FriendsのChoi(チェ)さん(韓国)によるオープニングトーク『障がい者の表現を支える社会づくり ~ 日本と韓国の状況』『アジアでネットワークを作りたい、一緒にやりませんか?』(チェさん) 夢を語り合うあつという間の40分でした。

第一部のパフォーマンスはトリプルビル(三本建て)!

韓国伝統芸能を魅せながら人々の生活を生き生きと描く VIVADEAF Dance Art Company(韓国)『Pumbaa, Ya!』、全ての命がともに生きるこの世界を謳うスクランブル・ダンスプロジェクト『ひかりのすあし』

最後は、TOKYO No.1 SOUL SETの渡辺俊美さんの音楽とダンスのコラボレーション、最後の一曲では、韓国メンバー、日本メンバー、そして観客席もいっしょに音とダンスの歓喜に包まれました。

そして8月にはスクランブルメンバーが韓国に招聘され、踊ってきました!

スクランブル・ダンスの輪がこれからも全国に、世界に広がっていきますように!



社会とつながるアールの仕事

アールの作品 活躍中!

アトリエで生まれた作品は、さまざまな形で活用されています。作品そのものの販売だけでなく、リースサービス、デジタルデータでのご提供、また展示場所や用途に合わせた委託制作（描き下ろし）も承っています。今期もたくさんのお機会をいただくことができました。



メインビジュアル・デザインモチーフ

障害がある人の作品と社会をつなぐ企業 andand+（アンドアンドプラス）にコーディネートいただき、アールメンバーの作品がさまざまなプロダクト・プロジェクトで採用していただきました。andand+ <https://www.home.andand-plus.com>



andand+ 浅川さんとパートナー企業コンティオさんのお二人・ケリー幸太エドワードさんご家族・萩原理事長 某グローバル企業にて

AIが台頭する社会、新たな価値を創出する人材はクリエイターであると確信しています。しかし、現在は優れた創造力を有しながらも個性の凹凸の振れ幅が大きいため日の目を見ることなく活躍機会を得られないアーティストやデザイナーが埋もれてしまっています。andand+は、こうしたクリエイターがプロフェッショナルとして活躍することによりワクワクする社会をつくっていく歩みになることを目的とした活動を行っています。

andand+ 代表・浅川 浩樹

ご利用者さまの声

作品をトリミングし、拡大したアートグラフィックを実際にオフィス空間に納め、息を呑むような魅力に引き込まれた。作家さんやご家族と内覧会を行って、一緒に取り組むことの意義が再認識できた目頭が熱くなるような体験だった。一緒にできたことが心から嬉しい。国際的なデザイン賞を複数受賞するきっかけにもなった。空間を飾るだけのアートではなく、語れるアートに価値を感じる。（ココヨ株式会社 ファニチャー事業部 オフィス設計チームさま）



柴田航汰さんとココヨ株式会社のみなさま

湘南ベルマーレフットサルチーム



チラシのデザイン・巨大迷路のパネルに採用していただきました。会場に行ったメンバーもその大きさに大興奮!



出演者・スタッフのみなさまと記念撮影!

三の丸ホール主催イベント メインビジュアル （描きおろし）

- 「三の丸ホールの夏休み劇場留学」
（奥津大希）
- 「海の向こうのふしぎな世界」
（佐藤玲奈）



小学生ポッチャ競技会 2023 ロゴ（NHK）
いくつもの作品が使われています。

作品リース

アトリエで創作されたアート作品を、お客さまの空間に合わせて作品を選び、3ヶ月ごとにメンバーとともにお届けする「アートリース」。毎回の作品キュレーションは、中津川浩章アートディレクターが担当しています。



現在リースをご利用くださっている皆様

（株）鮑屋／大谷 社会保険労務士事務所／ゼロワン（株）／小田原ガス（株）エコリア／小田原ガス（株）本社／小田原市役所／小田原短期大学／小田原箱根商工会議所／カフェ・グリット／（株）クレスコ／さがみ信用金庫本店／サンネット（株）／（株）鈴廣蒲鉾本店／循環器中町クリニック／（株）東海ビルメンテナンス／整体半蔵／（株）ファーレン小田原／ふくらん／（株）松岡東京Central DC／（株）まるだい運輸倉庫／（株）ミニ／美容室 MU／横浜小児科医院／横浜銀行本店／横浜銀行小田原支店／神奈川県住宅供給公社／みなとみらいクリニック／（株）新宮川／DiningNICO／PuMBaA／アルコニックス（株）／小田急不動産（株）

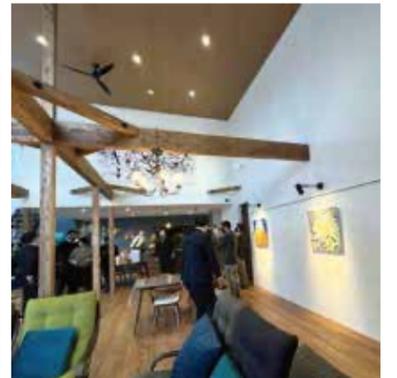
作品リースについての詳細情報はアールHPへ
展示場所やご予算に合わせてご提案いたします。お気軽にご相談ください。



空間コーディネート

サンネット株式会社ワーケーションオフィス

北海道長沼町に完成したオフィス空間全体の作品コーディネートをお任せいただきました。中津川浩章アートディレクターによる200号作品のライブペインティングから生まれた作品と、アールメンバーの作品が、長期滞在する社員さんを見守る空間となりました。



商品ラベルに使っていただきました

荻窪茶園

煎茶、抹茶入玄米茶、ほうじ茶、
玄米ほうじ茶、紅茶の5種類



MAMI&CO.FARMのみかんジュース
小田原・曾我山で大切に育てられた
みかんの生搾りジュース

アールドヴィーヴルギャラリーカフェで販売中!



コラボレーション CD 「Magical Tone」

アールの7つの作品をテーマに作曲した
ピアニスト・瀬尾真喜子さんによるオリジナルピアノアルバム
「絵にインスパイアされて、ピアノから躍り出た音たちの躍動を生け捕りにしました。細胞に響くマジカルな音が、内側からあなたを癒やします。」
（瀬尾さん）

Apple Music / Spotify 他 各配信サイトにて配信中!

<https://nex-tone.link/A00121959>

作品ブックレット付CDアールドヴィーヴルギャラリーカフェで販売中!

誰もが文化芸術を鑑賞・創作・発表する機会を創出する神奈川県の実業として 2020 年より始まった「ともいきアートサポート事業」。アールでは県から委託を受け、展覧会、ワークショップ、リース作品の提供など、さまざまな形で事業を担っています。

ともに生きるアート展3

小田原での展覧会、本年度は「ともに生きるアート展3」として、県立小田原養護学校と湯河原校舎で実施された二つのワークショップから生まれた作品たちを展示しました。3月12日(日)には篠原聡さん(東海大学ティーチングオリフィケーションセンター)をお招きし、ギャラリートークも行いました。



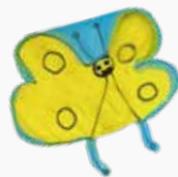
友達が描いた上から色を重ねて新しいカタチや色を発見!戸惑ったり!強気になったり、集中したり。パートを受け持って描くのではなく、まさにみんなの個性がリアルに重なり合っ一枚の大きな画面ができ上がりました。そして先生や支援する人も混じって制作している様子の写真も合わせて展示します。(パンフレットより: 美術家・アートディレクター 中津川 浩章)



会期: 2023年3月8日(水)~13日(月)
 キュレーション: 中津川浩章
 主催: 神奈川県・アール・ド・ヴィーヴル 会場: ギャラリー NEW 新九郎
 後援: 小田原市・小田原市教育委員会 特別協力: 神奈川県立小田原養護学校 湯河原校舎

ともいきアートサポート事業・常設展示

2023年4月28日(金)~8月6日(日) ブランチ茅ヶ崎2 サンノイチ・2階エントランスにて作品が常設展示されました



展示が巡回します! 神奈川県立青少年センター(神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-1・根岸線桜木町駅徒歩8分)
 2023年11月13日~2024年3月18日

ともいきアート常設展示: ブランチ茅ヶ崎・オンライン展示
 展示作品と作者紹介がウェブサイトでご覧になれます。
<https://tomoiki-art.com/chigasaki/>



「ともいきアートサポート事業」イメージ映像
 StudioFLATさんとともにアールのアトリエが登場!



ワークショップ 2022年6月より、障害がある方もない方も、どなたでもご参加いただけるようになったワークショップ。小さなお子さんから大人の方まで、制作を楽しみたい方がアトリエに集まり元気に続いています!ワークショップ開始時から参加してくれている仲間が今年なんと20歳になったという嬉しい知らせもありました。講師のみなさまの協力のもと、このような温かいサードプレイスが小田原の地で続いていることに感謝しています。久しぶりの方も、絵を描いたことがない方もどなたでも大歓迎!!ぜひご参加ください。(理事長・萩原)



アートワークショップ: 中津川浩章先生



織り: 平井巳和子先生



ヨガ: YURIKO 先生

ワークショップのスケジュール & お申し込みはこちら!



英語: Joe Kelley 先生

ギャラリーカフェ通信

アトリエ併設のカフェ & ギャラリーでは、常設でアールの作品を展示しています。

今期は4つの企画展を開催しました。日頃の創作活動に向かうみんなの姿を知っている私たちスタッフ。メンバー全員の、そして出来るだけたくさんの方の作品を見せたい!それぞれのキャラクターや個性溢れる作品をたくさんの方に知ってもらうには?と試行錯誤しながらコンセプトから展示までをスタッフだけで準備しています。紹介したい作品が沢山ありすぎて、作品セレクトはいつもとても大変な作業ですが、今後もメンバーの魅力をご紹介できるような展示会を企画していきます。お楽しみに!
 (生活支援員・片山由美子)



5人展

5人展 2022.11.9 ~ 25

阿部花凜/大槻陽人/佐藤玲奈/塚本愛実/野々村聡眞の5人の作品にスポットを当てた展覧会。創作に駆り立てられる心、自由な表現力の面白さ。それぞれに「自分らしく生きている」日常をお届けできたらと、作品の展示もメンバーと行い、カフェでもお客様をお迎えしました。



グッズ展

2022.12.1 ~ 24
 グッズにフォーカスした初の試み。新作のお菓子も並びました。ギャラリーカフェには、クリスマス装飾&カレンダーに使用された作品を展示しました。



「クリエイティブ魂に火をつける」奥津大希展

2023.1.10 ~ 31

一般財団法人八三財団様の財団生に選出された奥津大希の初の個展。愛されるキャラクターと、多彩な表現方法、ユニークな構図の中に緻密さも見え隠れする奥深い作品が展示されました。ゲストに舞踏家の松岡大さん・中津川アートディレクターをお迎えしたギャラリートークにはたくさんの方にお越しいただきました。



いきもの展 2023.7.18 ~ 28

「いきもの」をテーマに制作したアールメンバー全員の作品を、可能な限り本人の意思で選出して展示しました。可愛いらしい&面白い&迫力ある作品が紹介しきれないほど!開催期間中の土日に開催したオリジナルバッグ制作ワークショップには20名以上の方がご参加くださいました。

賛助会員へのご入会・継続をお願いします

アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのある人たちに「自分らしく生きる」機会を提供し、社会参加を応援しています。また、彼らの社会的自立と障害理解のため、啓発活動を行っています。おひとりでも多くの方に活動の趣旨にご賛同いただき、ともに地域社会を作る仲間として、継続的にアール・ド・ヴィーヴルを応援していただけますよう心よりお願い申し上げます。

特典／賛助会員のみなさまには毎年アール・ド・ヴィーヴルオリジナルカレンダーを進呈いたします！
 展覧会のご案内、ニュースレターなどアールからのお知らせを折々にお届けいたします。

賛助会員（年会費）個人 一口 5,000 円：団体・法人 一口 10,000 円（ともに一口以上）

よろしく
おねがいします！



社会福祉法人への寄付は税額控除の対象となります

地域の障害がある人たちの日常を豊かにする取り組みをご一緒に進めてまいりましょう！
 活動へのご寄付のご協力をお願いいたします。（賛助会費は税額控除対象にはなりませんのでご注意ください）

賛助会員・ご寄付申込書ダウンロードリンク：<https://artdevivre-odawara.jp/supporter/>



これからの予定

アール・ド・ヴィーヴル展 自分らしく生きる14

2023年10月4日（水）～9日（月）
 会場：ギャラリー NEW 新九郎

ともに生きるアート展4

2023年12月20日（水）～25日（月）
 会場：ギャラリー NEW 新九郎



Webサイトをリニューアルしました

2023年10月公開しました！
 コーディネイト：Contio 杉千種さん・山口里佳さん
 デザイン：森勢津美さん
 プログラミング：都築周さん
**長きにわたるプロジェクト
 お世話になりました！**



URLは変わりません artdevivre-odawara.jp



ご支援、ご協力、ありがとうございます

- 賛助会員（個人）：72名
- 法人会員（35社）：(株)鮑屋 / (株)ういろう / (株)エスアールシー / 大田和公認会計士税理士事務所 / 岡宮産婦人科医院 / 小田原瓦斯(株) / (株)小田原百貨店 / (株)さくいち / (株)クニヨシ / (医)けやき会安間医院 / (福)県西福祉会 / さがみ信用金庫 / (同)Sasaki Family Company / サンネット(株) / (株)新宮川 / 杉崎茂法律事務所 / 鈴廣かまぼこ(株) / (同)スタジオパンダ / (株)セトプリント / 西湘ビルメンテナンス協同組合 / 相洋産業(株) / 曽根歯科医院 / (株)タムラ製作所 / (株)ティー・アイ・シーミウラ / (株)T-FORESTRY / (株)東海ビルメンテナンス / 中川食肉(株) / (一社)八三財団 / (医)平原眼科クリニック / ヒューマンズ・ネット(株) / フロンティア1(株) / (株)まるだい運輸倉庫 / (株)ミクニ 小田原事業所 / (医)山田クリニック / (医)横田小児科医院
- 寄附：(株)アークル / 湘南電力(株) / (株)T-FORESTRY / (有)毎日元気 個人匿名4名
- 助成：神奈川県マグカル展開促進補助金



社会福祉法人 アール・ド・ヴィーヴル

- 理事：萩原 美由紀 横田 俊一郎 杉崎 茂 中津川 浩章 牛山 恵子 ケリー 佳枝
- 監事：柴田 和生 小室 全由
- 評議員：菱宮 武夫 鈴木 博晶 高橋 剛司 市川 聡 武市 早苗 加藤 憲一 栢沼 行雄 小倉 直子

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 403-17 ■ TEL：0465-25-4534 ■ FAX：0465-25-1935

■ Email：info@artdevivre-odawara.jp ■ Web：artdevivre-odawara.jp

art de vivre NEWS LETTER 10号 編集：発行：社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル 2023年10月4日発行

